

令和6年度第1回地域協議会 議事録

【日時】令和6年6月18日（火）14:00～14:40

【場所】四日市羽津医療センター4F多目的ホール

【出席者】柴田英治（当会副委員長、四日市看護医療大学学長）、河合信哉（四日市市保健所所長）、伊藤誠也（四日市市北消防署署長）、山路和良（四日市市自治会連合会会長）、内田寛（羽津地区連合自治会会長）、徳山直子（三重県乳腺患者友の会『すずらの会』代表）以下 当院職員
山本隆行（院長）、長谷川浩司（副院長）、岩永孝雄（副院長）、石井雅昭（附属介護老人保健施設長代理）、後藤信二（事務部長）、牧野真美（看護部長）、伊東亜矢子（附属訪問看護ステーション看護師長）、中島佐知子（地域連携室看護師長）、位田弥生（総務企画課長）、森田幹治（健康管理センター管理課長）、中川佳代（附属介護老人保健施設管理係長）

○院長挨拶

皆様こんにちは。本日は、お忙しいところお集まり頂きありがとうございます。住田院長から引継ぎ、4月に就任した山本です。安全で良質な医療を提供できるよう日々努めています。更なる救急患者対応ができるよう意識改革に取り組んでいますので、今後ともよろしく願いいたします。

1. 四日市羽津医療センターからの報告事項

・病院の現況報告について

<岩永副院長>

【資料参照】

令和5年度外来状況、1日外来患者数469人。前年度比1日あたり15人減少。救急車搬送件数は1433件。前年度比1か月あたり2件増加。紹介患者数は6273人。前年度比1ヶ月あたり27人減少。初診患者数は8970人で前年度比1日あたり9人減少。新型コロナウイルス感染症5類移行後、外来患者数減少。

1日入院数は前年度比5人増加、新入院患者数は前年度比178人の増加。1日平均入院患者数の月ごとの推移では、8月まで徐々に増加、秋になると減少。冬になるとまた増加する傾向。夏場は熱中症や脱水症患者が増え、秋に落ち着き、気温が低くなる冬に循環器系疾患の患者が増える傾向。

1日平均入院患者数の診療科別では、内科は紹介と救急車経由の入院が増加。その他の診療科は前年とほぼ変わらない状況。

紹介率、逆紹介率は、令和5年度の月平均紹介率は93.5%。逆紹介率は117%。令和5年度は紹介率、逆紹介率ともに前年度よりもかなり上回っている。

病診検査の依頼件数は、令和5年度は前年度より月平均16件減少。令和6年1月19日～2月末日までMRIの装置入替え工事があり、検査受入れを止めていた影響で2月検査数は減少。

救急搬送患者数は、前年度に比べ月平均3件増加。11月以外、どの月も100件以上の受入れ。四日市全体としての救急車受入れ件数割合では、当院の救急車受入れ率は8.5%。前年度とほぼ変わりなし。輪番日の応需率は83.6%。輪番日については、救急隊からの要請に対し

て可能な限り、受入れ実施。

当院からの4つのお知らせ。①令和6年4月から病診検査に下肢動脈エコーと下肢動脈エコーが加わった。②令和6年3月よりAI問診を導入。AI問診を行うメリットは従来の紙問診よりもさらに詳しい問診ができ、言い忘れや伝え漏れが減ることで医師の診察内容をより充実させることができる。③玄関出入口と会計待合所にデジタルサイネージを設置。向かって右側から「自宅周辺の当院連携医療機関の検索掲示」で医療機関が検索できます。その隣が「病院周辺地図」「近鉄電車・三交バス時刻表」「休診案内」を表示。会計待合所にも連携医療機関を掲示。今後は、色々な情報発信に使用予定。④令和6年1月より外科医師の堀医師が就任。主な診療は肝臓・胆嚢・膵臓や消化器。4月から整形外科に後藤医師が就任。糖尿病・内分泌内科に堅田医師が就任。研修医は6名。

・健康管理センターの現況報告について

＜森田管理課長＞

【資料参照】

施設健診 月別件数推移、令和5年度は前年度比増。

月別件数生活習慣病予防・人間ドック 2月までの累計は実勢件数が多い

月別件数、法定健診 2月までの累計は令和3年、令和4年並みの実施件数

住民健診 胃がん健診以外の大腸がん、子宮がん、乳がん、肺がん健診が前年度より増加

巡回健診 月別件数推移 前年比マイナス。

生活習慣病予防・人間ドック 11月までの累計は前年度比増だが、累計ではマイナス。減少傾向。

法定健診 11月までの累計は前年度比増だが、累計ではマイナス。

特定保健指導 実施件数、前年度比増。

胃カメラ 検査枠 令和5年9月より検査枠増、令和6年6月検査枠増。

実施件数 前年度比増、年間3,000件以上実施できるようになった。

膵がん健診 前年度比増

令和6年度取り組み

- ・施設健診 胃カメラ枠増、腹部エコー枠増、新規オプション検査の充実、市町健診件数の維持、協会けんぽの受診勧奨への参加
- ・巡回健診 新規事業所の獲得、ドック者の活用（腹部エコー、眼底検査など）
- ・特定保健指導 前年比+200件、健診当日の受診鑑奨、ICT化

・介護老人保健施設の現況報告について

＜石井施設長代理＞

【資料参照】

入所者平均前年度比 目標90%であったが、達成できず昨年度よりマイナス。1月にコロナウイルス感染症があり入所率の回復までに時間がかかったため。

入所前所在 昨年度比較で、大きな変更はなく、自宅から入所が一番多い。

年度別再入所・再利用者割合 約半数がリピーター。

在宅復帰率 令和5年度平均66% 安定した高い率を保っている。

退所先別 令和5年度自宅が38%が一番多い。

退所先種別 令和5年度自宅が50%。病院が22%。

通所者平均前年度比 令和5年度 平均17.6人 利用率58.7%。

年度別老健退所後と新規通所利用開始割合 令和5年度 64%が老健退所後通所利用。
居宅介護支援事業所受持件数 平均 82.5 件
訪問給食件数 平均 16.3 件、配食数 平均 407 食

・訪問看護ステーションの現況報告について

<伊東看護師長>

【資料参照】

訪問看護ステーション運営状況

月別利用者数 目標値 85 人 令和5年度月平均 81 名、令和5年10月以降は令和4年度より少ない状況。

月別のべ訪問件数 目標 550 件/月、令和5年度月平均 564 名。

利用者の医療保険・介護保険の割合 介護保険の方が若干多い。介護保険の方の病状が安定し、ケアの提供が継続的にでき変動が少ない。

介護保険利用者の介護区分とサービス内容 利用者 42 名

利用者の年齢別分布 80～89歳の割合が多い。

地域別の利用者一覧 四日市市、北地域、羽津が多い。

2. その他

・駐車場について

<後藤事務部長>

7/1 から駐車場をゲート式からカメラ式へ変更。スムーズな出入りができるようになり、渋滞の緩和ができる。危険防止の為、出口はゲートを設けて、車に反応してバーが開く。なお、6月中は工事期間の為、解放している。

3. 意見交換

(学識経験者)

老健にて1月に新型コロナウイルス感染が発生とのことだが、四日市大学でも、1週間前にクラスターが発生した。まだまだ油断はできないと考えている。

(行政)

脳梗塞などの受け入れは如何か。

(回答)

当院に脳神経外科がなく、急性期の出血や脳梗塞は、悩ましい疾患。脳神経内科の医師が1名おり、MRIも新しくなり、可能な限り貢献していきたい。

(自治会)

老健の訪問給食は外部委託なのか。そして、食材費等の高騰により、1食あたりの利用者負担は増加しているか。

(回答)

訪問給食は外部委託で、利用者負担金は増えず、四日市市の負担金が増加しています。

(自治会)

特定健診にて、肝臓、膵臓、腎臓が検査に引っ掛かり、再検査となり、肝臓は精密検査の予

約となったが、腎臓の方の予約はなく、受診手続きで窓口に並ばないといけないのはどうなのでしょう。

(回答)

腎臓内科については、スタッフが少なく初再診という手続きをとることになってしまう。お手数をおかけし申し訳ありません。

(患者代表)

相談窓口に、どこに相談して良いかわからない様な、ちょっとしたことでも相談してもよいか。

(回答)

相談していただいて良いです。ご意見箱に記載していただいても良いです。

(学識経験者)

第二日赤で研修医の誤診にて16歳の高校生が亡くなったとの報道があった。難しい症例で、16歳ではなく高齢者であれば気付いた可能性はあるが、研修医の指導は難しいと感じた。先生方はどう思いましたか。

(回答)

まず上席医へコンサルしていたのかと、入院させていれば結果は違っていたのではないかと考えている。当院では救急車で来た患者さんは、緊急性が高いと考え、できる限り入院させる方針としている。

(患者代表)

主人が倒れ、救急車にて運ばれた。医療センターが当番日で、すぐ入院、手術となり退院できた。皆さんの高度な医療、医療関係者の大変さ、ありがたさを実感した。本当にありがとうございました。

(北消防署)

日頃から救急車の受入れ、また、整形外科の受入れを拡大していただきありがとうございます。引き続きよろしく願いいたします。

4. 長谷川副院長 閉会挨拶

本日はご多忙の中、またお足元の悪い中お越しいただきありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。